

Rina Inoue



Kumwetulira

Mwa dzuka bwanji ? Dni ka lankhula trip.

せきまちきたしょうがっこう
関町北小学校のみなさん、こんにちは。あつという間に 2022 年も残り 2 ヶ月になろうとしていますね。私のマラウイでの日々があと 5 か月くらいになり、月日の早さに驚いています。マラウイでは暑い日が続いています。乾季なので雨も降りません。わたしの住んでいる町にあるナショナルパークは乾季に多くの動物を見ることが出来ます。乾季の間に行かなくては・・・と思う日々です。

さて、今日は久しぶりに最近の授業の様子をお伝えしようと思います。前学期に続き、今は STD1 のクラスで算数をマラウイの先生と一緒に教えています。10 月に入学してきたばかりの子どもたちです。リウォンデでは幼稚園に通ってから来る子はあまり多くないため、ほとんどが小学校に入ってから初めて集団で生活をしたり、みんなで学んだりします。また、幼稚園に通っていたかどうか、親の判断、などで就学年齢も異なるため、3 歳～9 歳くらいまでの子が小学校 1 年生として同じクラスにいます(留年してしまった子もいます)。机もいすもないので、床に座りますが、印もつけられません。そして、1 つの教室に 100 人近くの子もたちが入ります。最初は列を作って座る練習からスタートしました。なかなか列を覚えることができない子どもたち。一度外に出るとまた振り出しです。日本のように机もないですから仕方ない・・・ですよね。

そこで、ダンボールに野菜の絵を描きました。そしてそれを壁に釘で打ち付けます。12の列に野菜の名前をつけました。1列目はにんじん、2列目はじゃがいも、とこんな感じです。20分くらい、野菜の名前を言って覚えるという練習を繰り返しました。自分の野菜を覚えた子を中心に、なんとなく自分たちで列になって座ることができるようになりました。嬉しいですね。

マラウイでは、いろいろな物を数えたり、絵を見せたりするのにも、たくさんの準備がいらいます。日本だと、ドリルや印刷したプリントなどでなぞる練習をしたり、線つなぎをしたり、文字を書く前の練習もできます。また、小学校に入って初めて鉛筆を使って何かを書いたという人はほとんどいないですよ。でも、マラウイでは小学校に来て初めて鉛筆を用意してもらい(といっても新品ではなく、短い鉛筆)、学校に来て初めて書く経験をするという子も少なくありません。1年経った今でも、「そうだよな。当たり前は当たり前じゃないんだ。」と気付かされることがたくさんあります。残りの期間も、気持ちは新鮮にいろんなことを吸収して日本に帰りたいです。

列に並ぶことをボーボー(相方の先生)が教えています。



薬剤師の隊員の子が遊びに来てくれました。



初日に来なかった子どもたちのクラス分けをしています。

